



公益財団法人SAJ

SAJ Farm 通信

vol.53 2014年 12月号

公益財団法人
School Aid Japan

〒144-0043

東京都大田区羽田 1-1-3

TEL: 03-5737-2773

FAX: 03-5737-2793

<http://www.schoolaidjapan.or.jp>

sajinfo@schoolaidjapan.or.jp

野菜の取り組み

カンボジアは基本的には仏教の国なので、クリスマス祝う風習というのはあまりなかったようなのですが、最近は海外の影響を受け、プノンペンなど都市部ではクリスマスらしい飾り付けをしたり、クリスマスらしく赤い帽子を被って接客する飲食店が増えてきました。個人的には日本食レストランがそこまでクリスマスらしくしなくてもいいのではないかと思います。街に活気が出て面白いのはいいことだなあと感じます。

今回はオクラの出荷を実施したのでその報告と、野菜の取り組みについて報告いたします。

①オクラの出荷について

今月からオクラの出荷をごく少量ですが開始しました。出荷先は日本人の方が経営する八百屋さんです。ここでは自社農場で栽培した野菜や契約農家さんから仕入れた野菜をプノンペンのスーパーやレストランに卸しています。オクラはアフリカ原産で、乾燥に強く土が痩せていても育つので、農場のまだ土作りが十分でない畑でもちゃんと育ってくれます。オクラは種を播いて1ヶ月半で収穫可能になり、4ヶ月後には収量が落ちてくるため、その前に新たに種を播いて栽培することで周年出荷できるようにしていこうと考えています。今は週に1回、日本人職員が他の業務と合わせてプノンペンに行くときに出荷していますが、収穫量が増えてきたので今後はいつも孤児院でお世話になっているタクシー会社さんにも運搬をお願いすることで出荷量を増やしていく予定です。また、今後はナス・ミニトマト・レタス類など別の野菜も出荷するべく、ハウスや露地で栽培に取り組んでいます。

②野菜の取り組みについて

上記したように出荷を開始した野菜ですが、実際のところ野菜を出荷してもSAJ Farmの収益化に繋げるにはなかなか難しいところがあります。しかしながら、

SAJ Farmで集積した水稻・野菜栽培に関する知見を地域の農家さんに講習会で流通させること、地域の農家さんの野菜の流通に協力することが出来れば地元の農家さんの生産意欲が上がり、地元の農家さんの所得向上には繋がるのではないかと考え、継続して野菜の栽培と講習会の開催を行っ



オクラを少量ですが、出荷開始しました。



現在の野菜ハウス。オクラ・ナス・ミニトマト・唐辛子を栽培しています。

ていきます。

先日、このような取り組みを実践している所を見学しました。場所はプノンペンから1時間半ほど行ったコンポンスプー州というところにあり、現在は60軒くらいの農家さんが出荷組合を作り、栽培したレタスなどをプノンペンの上記した日系の八百屋さんに出荷しています。その出荷組合は以前EUのNGOが関与していたそうで、そのお陰でカンボジアでは品質の高いものを栽培しています。有機栽培のレタスはプノンペンに住む欧米人や富裕層、レストランで人気があり、他の野菜に比べて高く販売できます。

私たちSAJ Farmのあるコンポンチュナン州の村でもこのような取り組みが今後出来るようにしていきたいと考え、その第一歩として講習会でレタスの栽培について説明を行いました。講習会ではレタスの種は光を好むので浅めに播くこと、水を一気にやってしまうと種が流れてしまうので、じょうろ等で優しく水やりすること、レタスは暑いのが苦手なので、遮光シートなどを使ってできるだけ涼しい環境を作ったほうが良いことなどを伝えました。参加した農家さんには以前作ったことがある方もおり、その方の話だとアリに種や芽を食べられてしまうので農薬を使わないと栽培が難しいということでした。アリに食べられるというのは正直、日本では聞いたことがなかったので驚いたのですが、レタスは有機で栽培することに価値があることを伝え、今後レタスを有機でどうやって栽培するとかいいか地域の人とも話し合い、学びあうことで良くしていこうという話になり、講習会は盛り上がりました。

まだまだ地域の農家さんに貢献できているとは言い難いのですが、今後も継続して活動していくことで少しでも貢献できるようになっていきたいと思えます。



出荷組合の共同選別場。ここに農家さんがレタスを持ち込み、選別・洗浄されてプノンペンまで運搬されています。



組合の農家さんの畑。池の周りで栽培し、管理作業を容易にしています。



講習会でレタスの栽培について説明し、播種を実習で行いました。

編集後記

早いもので2014年が終わります。私も気づけばカンボジアで勤務を開始して1年半経ちました。私自身にとってSAJ Farmでの業務は学ぶことが非常に多く、非常に良い経験をさせていただいているなあと感じています。2015年はこの経験を少しでも農場のスタッフや現地の農家さんに還元していければと思います。来年も頑張ります。

早藤